

候補地No 103

項目		評価		価					
位置		山江村山田		容	量				
a 立地特性	地形	施工の容易性		良好である。					
		施設用地の確保		容易に確保できる。					
		埋立効率		小さい沢が存在するが盛切土を行うことにより埋立効率はおおむね良である。					
	地質	地質の概要		第三紀安山岩質の強風化した凝灰岩。また、谷底部には谷底堆積物がある。切盛土造成としては容易と判断されるが切土法面の安定性について検討が必要()。					
		地盤改良の必要性		幅広の谷(水田)が発達し、谷底堆積物が厚く堆積していると判断され、地盤改良の必要性が高い()。					
		透水性		強風化凝灰岩は、粘土質で、ほぼ難透水性である()。					
	土地利用	候補地は、農地及び休耕地である。 候補地周辺は、山林である。							
	道路状況	アクセス道路の新設、拡幅	不要	必要	(整備必要延長約 3,040 m (内 新設0m))				
		季節、天候による交通規制	なし	あり	()				
	既存の最終処分場	候補地から南東約4.1kmの位置にある。							
市町村等開発計画	該当しない。								
b 環境特性	河川状況	新層川 川辺川 球磨川							
	景観	候補地は周囲から見えにくい谷地となっていることから、景観に関する配慮の必要性は低い。							
	環境保護区	該当しない。							
C 安全性	住宅状況	住宅への距離 約 330 m							
	利水状況	水道水源からの距離	2130 m	水源の種類 湧水					
		水道水源との位置関係	流域 同じ	(候補地の)	異なる				
		農業利水の有無	なし	あり	(候補地下流域の農地に利用されている。)				
	公共施設の位置	候補地の南2730mに小学校がある。							
	流域状況	流域は広くない。							
	危険箇所	該当しない。							
d 経済性	施設概要	事業区域面積 (ha)	17.1	開発区域面積 (ha)	12	埋立面積 (ha)	6.4	浸出水処理能力 (m ³ /日)	240
	概算処理施設建設費	98.0 億円		(土木工事費、浸出水処理施設、管理棟建設費)					
	概算道路建設費	14.1 億円		(新設工事 + 拡幅工事)					
eその他.	特になし。								